小野寺五典防衛大臣殿
岸田文雄外務大臣殿

神奈川県三浦市での米軍ヘリ不時着・横転事故に抗議し、基地の撤去を求める

2013 年 12 月 17 日　日本平和委員会

昨日（12 月 16 日）、神奈川県三浦市三崎の埋め立て地で米海軍厚木基地所属のヘリコプター「MH60Ｓ」が不時着しようとして失敗し、横転。2 人の乗組員が負傷した。事故原因は現時点で確認されていないが、三浦市消防本部は動力を伝える装置での不具合の発生を指摘し、乗員は「後部ローター（回転翼）が停止した」と話しているという。

現場の近隣には水産加工場や水産物の直売所があり、休日には観光客が多数訪れ、百メートル先には住宅地が広がっており、一歩間違えば大惨事になる事故であった。

神奈川県内における米軍機の事故は、1952 年 4 月以降、少なくとも 255 件にのぼる。墜落事故は 62 件、不時着事故も 58 件を数える。今回の事故は、全土基地方式にもとづき人口密集地のなかに平気で米軍航空基地をおいている日米安保体制の世界に例のない異常と危険を改めて示した。神奈川はじめ首都圏では、厚木基地、横田基地の米軍機が人口密集地の上空を、我が物顔で飛行し訓練を行っている。このような世界に例のない異常な屈辱的で危険な状態を一刻も早くなくすことが求められている。ましてや、墜落をくりかえす欠陥機オスプレイの厚木、横田などへの展開と訓練を推進するなど、言語道断である。

私たちは、事故原因の究明とその間の飛行停止を求めるとともに、小手先の対応ではなく、首都圏からの米軍基地の撤去を求めるものである。また、オスプレイの訓練と配備計画の撤回を求め、沖縄県民と共にオスプレイの全機撤去を求めるものである。